

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 埼玉県鴻巣市
本事業の担当部局名 こども未来部こども応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	鴻巣市青少年ふれあい体験事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成23年度
総事業費(A)(円)	193,411		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	193,411
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	193,411						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	80,000	0	59,131	54,280
	対象経費支出予定額	0	0	80,000	0	59,131	54,280
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	0	0	193,411
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	193,411
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 過年度に引き続き、中学生を対象に乳幼児やその保護者とのふれあい体験を実施し、命の大切さや子育てについての理解を深めるとともに、自身の将来の仕事・結婚・妊娠・出産・子育てを考えるきっかけづくりを行う。 また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。</p> <p><本個別事業の位置付け> 中学生が結婚・子育て等に対する理解を深め、自身の将来のライフデザインを思い描けるよう取組を行うもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	青少年子育てふれあい体験	中学生を対象にした本事業は、普段接する機会の少ない乳幼児やその保護者とふれあうことにより、自身の将来の仕事・結婚・妊娠・出産・子育てを考えるきっかけとし、将来の子育て不安を軽減させ、中長期的視点で少子化対策を図るものである。 事業の具体的内容としては、助産師を講師として招き、生命の誕生や命の大切さをテーマとした内容で講演をしていただき、講演後、各クラスに分かれ乳幼児とのふれあいと保護者に子育てに関しての実体験等の話をし、自身の将来を思い描ききっかけとする。				
	2						
	3						
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 令和6年度は、5年度と比較し、青少年子育てふれあい体験の実施を希望する学校が4校から2校に減少した。令和7年度は3校で実施予定だが、コロナ禍前と比べると減少している。学校の年間スケジュールにも関係してくるため、早めに学校への照会を行う。 また、今年度は父親のボランティア参加もあり、特に男子中学生にとってよい刺激となった。来年度以降も、父親の参加を積極的に呼びかけるとともに、学校側にも、青少年子育てふれあい体験を実施することの意義や重要性を伝え、実施校を増やしていく。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	鴻巣市が子育てをしやすいと思う保護者の割合		%	72.2 (R8年度)	63.0 (R5年度)
	この地域で子育てしたいと思う乳幼児の保護者割合		%	96.5 (R8年)	94.7 (R5年)
	年少人口		人	12,080 (R8年)	12,751 (R5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.04 (R5年)	
	婚姻件数		件	328 (R5年)	
	婚姻率			2.8 (R5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	参加者数	人	570 (R7年度)	391 (R5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④	実際に乳幼児と触れ合って、乳幼児に親しみを感じた参加者の割合(満足度)	%	90 (R7年度)	100 (R5年度)
	⑤	子育てに対する理解が深まった生徒の割合	%	90 (R7年度)	100 (R5年度)
⑥					
⑦					
⑧					